

東アジア情勢	ヤマト政権の動き	古墳文化の変化
中国の南北分裂 (4C 初～) (南北朝時代) ↓ 高句麗 の領土拡大 (313年、楽浪郡滅亡) ↓ 朝鮮半島南部 の国家形成 (4C 半～) →百済・新羅・加耶諸国	[b.]の成立(3C 反～4C 初) →近畿地方中心の豪族による政治連合	【前期古墳時代 (3C 後～4C 後)】 ・ [a.]の出現 (西日本中心) 《古墳の特徴》 ・ 竪穴式石室 ・ 円筒 [c.]中心 ・ 銅鏡 (三角縁神獸鏡) など呪術的な副葬品 ⇒被葬者の [d.]的性格 代表的古墳 : [e.]古墳 (奈良) →現存の古墳で最古級
↓ 高句麗 の南下 (4C 末) 高句麗 VS 倭 ⇒史料: 好太王碑の碑文 中国の南朝に朝貢 ⇒史料: 『宋書』倭国伝	→鉄資源の獲得 倭に騎馬技術が伝来 ・ 倭の五王 (讚・珍・濟・興・武) (5C) ⇒九州・関東へ支配域拡大各地の <u>豪族が服属 (大王の権力強化)</u> 史料 { [h.]古墳鉄剣銘(埼玉) [i.]古墳鉄刀銘(熊本) ⇒ワカタケル大王 = [j.]天皇 ↳ 幼武=倭王武と考えられる	【中期古墳時代】 4C 末～5C 後 《古墳の特徴》 ・ 副葬品に馬具や鉄剣 ⇒被葬者の [f.]的性格 ・ [g.]式石室が朝鮮から伝わる ・ 近畿地方の前方後円墳の大型化 ・ 形象埴輪の増加 (家形・人物・動物埴輪など) 代表的古墳 : 大仙陵古墳 (大阪)・ 誉田御廟山古墳 (大阪)・造山古墳 (岡山)
中国や朝鮮半島での戦乱	・ [k.]の組織化 韓鍛冶部・錦織部・史部などの品部の 組織に組み込まれた →「帝紀」・「旧辞」の編纂 ・ [l.]の成立 (5C 頃か) 豪族は氏 (血縁組織) 組織し、大王から 姓 (家柄や職務に応じて与えられた称号) を与え られ、ヤマト政権の職務を分担 《継体天皇の時代》 ・ 磐井の乱 (527) ⇒ヤマト政権の地方支配強化 (国造制導入) 《欽明天皇の時代》 ・ 仏教公伝 (538or552)	漢字の使用、鉄器や須恵器の生産 《伝説的渡来人》 (王仁 (西文氏の祖) … 『論語』を伝える 阿知使主 (東漢氏の祖) … 財務を担当 弓月君 (秦氏の祖) … 養蚕・機織りを伝える)
隋の中国統一 (589)	推古天皇即位 (592) 地方の有力農民 を直接支配下に	【後期古墳時代】 5C 末～6C 末 ・ 地方で大型の古墳が見られなくなる ・ 装飾古墳が登場 →高松塚古墳 (奈良) など ・ [m.]墳の登場…有力農民層 【古墳時代終末期】 6C 末～7C 初 ・ 前方後円墳の停止 国造層は円墳・方墳、大王は八角墳 ⇒その後、古墳から寺院へ

